議 事 録

会議名	令和6年度第1回三鷹市地域密着型サービス等運営委員会
日 時	令和6年5月10日（金）午後7時00分～8時00分
会 場	三鷹市教育センター2階 第二中研修室
出席委員 （7人）	上田典之、秋山裕子、荒井孝子、森田武志、村上龍、外山靖、荒木大輔（敬称略）
事務局等 （7人）	健康福祉部長、介護保険課長、課長補佐、介護事業者指導係長、他事務局職員3人
会議の 公開・非公開	一部非公開
傍聴人数	0人
<p>1 三鷹市地域密着型サービス等運営委員会について 地域密着型サービス等について説明するとともに、本運営委員会の所掌事項の確認を行った。 委員長は委員の互選により上田典之委員が、副委員長は委員長の指名により秋山裕子委員が就任した。</p> <p>2 審議内容</p> <p>議題1 地域密着型サービス事業所の新規指定について</p> <p>(1) 新規指定の手続きについて説明するとともに、市内新規指定事業所がない旨報告した。</p> <p>(2) 市外事業所の新規指定の手続きについて説明するとともに、市外新規指定事業所がない旨報告した。</p> <p>【ご意見・ご質問等】</p> <p>委員：新規開設の相談件数は年間どの程度あるのか。</p> <p>事務局：相談内容は具体的な新規開設の相談や所有している物件の活用方法など様々だが、相談件数としては年2、3件程度である。</p> <p>議題2 地域密着型サービス事業所の指定更新について</p> <p>(1) 指定更新の手続きについて説明するとともに、市内事業所1件が指定更新予定である旨報告した。</p> <p>(2) 市外事業所2件が指定更新予定である旨報告した。</p> <p>【ご意見・ご質問等】</p> <p>委員：訪問介護サービスの場合、利用者が予定の時間に不在だとキャンセル料が発生するが、認知症の方に特定の時間の約束をすることは困難な場合が多い。今回指定更新予定の市内事業所が提供している定期巡回サービスは、予定時間に不在であってもキャンセル料が発生しないことや、朝の訪問時間に不在でも夜の訪問で会えればそこで服薬介助などもできるので、利用者にとってありがたい。定期巡回サービスを提供する事業所がさらに市内で増えるとよいと思う。また、今回指定更新予定の市外事業所は、ケアマネジャーも利用体験ができるという優れた特徴がある。</p> <p>委員：定期巡回サービスを提供する事業所は、昨年度新たに1事業所が開設したが、それま</p>	

では長らく今回指定更新予定の1事業所のみであった。大切な社会資源である。

委員：指定更新予定の市外事業所は、市内にも同じ法人が運営し同じサービスを提供する事業所があるが、市外事業所も指定更新するのか。

事務局：介護保険の指定の制度として、事業所ごとに指定することとなっている。市内に同じ法人が運営する事業所が所在していても、市外の事業所を三鷹市が指定しているのであれば、市内・市外それぞれ事業所の指定更新を行うこととなる。

委員：先ほどの不在時のキャンセル料の額はどのように決まるのか。

委員：事業所による。ケアマネジャーとしては、生活保護受給者の方などは特にお金がかからないように気を配る必要がある。

委員：訪問介護事業所でも、認知症の症状がとても進行している方などの場合はキャンセル料を徴収せず、事業所で負担することがある。会社によって対応が異なるところではあるが、支援者の立場としてどこまで事業所が負担するか、設計が難しい。

議題3 地域密着型サービス事業所の指定廃止・休止について（一部非公開）

(1) 市内指定廃止事業所がない旨報告した。

(2) 市外事業所1件が指定廃止となった旨報告した。また、市外事業所の指定廃止の取り扱いについて説明した。

(3) 市内休止事業所がない旨報告した。

(4) 市外休止事業所がない旨報告した。

【ご意見・ご質問等】

委員：一部非公開の取り扱いについて、事業所の廃止理由は非公開事項だが、休止事業所の該当があった場合、休止理由も非公開事項として取り扱うのか。

事務局：廃止理由については、法人の内部事情によるところがあることから、非公開事項としている。休止については、「この事業所からこの期間、休止の申し出があった。」という報告のみであり、休止理由は報告していないため、非公開事項とはならない。

委員：話が戻ってしまうが、指定更新などでの書類審査における事業所の負担について、事務局にお聞きしたい。

事務局：これまでは、指定更新の書類は新規指定と同じ程度必要だったが、国も簡略化する方向で動いており、三鷹市も同様に行う予定である。事業所情報等に変更があった場合に、事業所から変更届を随時提出いただいております。指定更新の時点で変更届の内容から変更がない場合は、提出書類が省略できるようにしていく。

委員：ケアマネジャーとしても事業所としても、提出書類が減ることはありがたい。

議題4 介護予防支援事業所の新規指定について

(1) 新規指定の手続きについて説明するとともに、市内新規指定事業所がない旨報告した。

(2) 市外事業所の新規指定の手続きについて説明するとともに、市外新規指定事業所がない旨報告した。

【ご意見・ご質問等】

委員：自治体によって指定を受ける難しさは変わるのか。

事務局：自治体によって提出を求める添付資料や量が異なるため、自治体による差はある。

先ほど提出書類の簡略化という話があったが、自治体ごとに書式が異なると手続きが大変なので、国として統一の書式を使うよう動き始めている。

委員：新規事業所がないのは予想どおりだと思う。そもそも介護予防支援の報酬単価が低く、三鷹市でもケアマネジャーが不足している。報酬単価が高い要介護の方のケアマネジメントの方が優先度が高い。事業者への働きかけなどの考えはあるか。

事務局：この4月から始まった制度であり、事業者も状況を見ているところがあると思われ、市としても近隣自治体の状況をみながら今後の方向性を考えていきたいと思っている。また、制度が煩雑なので、現在のところ事業者にとってあまり指定を受けるメリットがないことから、市から事業者に積極的に働きかけていないところである。今後、事業者にとっても利用者にとってもメリットになる仕組みを作っていければ、働きかけていくことが可能と考えている。国からも様々な通知が出ているので、整理しながら事業者へ情報発信していきたいと考えている。

委員：事業所が介護予防支援の指定を受けずに地域包括支援センターから委託を受けることができる制度が残っている。それで特に指定を受けるメリットがなければ、指定を受ける必要はないだろうというのが普通の考えだ。現場にいない人間であっても、おそらく使い勝手が悪いのだろうと想像ができる。やはり市から東京都や国に使い勝手が悪いと上げていくことが必要だ。これまで介護予防支援を担ってきた地域包括支援センターもなんとかしてほしいといった思いがあると思う。

委員：地域包括支援センターは幅広い業務を抱えている。介護予防のケアマネジメントばかりやっている、やらなければならない地域作りに本当に手が回らない。そうすると、結局は市民に利益が生まれないということになる。

議題5 介護予防支援事業所の指定更新について

- (1) 指定更新の手続きについて説明するとともに、市内指定更新事業所がない旨報告した。
- (2) 市外指定更新事業所がない旨報告した。

【ご意見・ご質問等】

委員：異議なし。

議題6 介護予防支援事業所の指定廃止・休止について

- (1) 市内指定廃止事業所がない旨報告した。
- (2) 市外指定廃止事業所がない旨報告した。
- (3) 市内休止事業所がない旨報告した。
- (4) 市外休止事業所がない旨報告した。

【ご意見・ご質問等】

委員：異議なし。

3 その他

【ご意見・ご質問等】

委員：本委員会は、議題だけをみると新規指定や指定更新の承認をしているだけみたいに見えるが、被保険者や関係者の意見を反映させる場である。議題から少し膨らませても構わな

いし、この用語がわからないという発言でも、普通の人にはわからないのだなと理解することができる。広い意味で議論を深めていきたい。

委員：一市民としてこの地域密着型サービスや介護予防支援などを考えるに当たって、三鷹市での介護ニーズや認知症の方々のこれからの伸び率、サービスのマッチングの想定などが肌感覚としてない中での参加だったので、今回のように現場にいる他の委員の話を伺いつつ、少しずつリアリティを得ながら理解を進めていきたいと思った。

委員：新しいことばかりで、わからないことばかりだが、これをきっかけに勉強できたらと思っている。